京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●暴徒被害一覧

全羅南道二月中に於ける

▲財産に關する損害▼

出沒地	集合又は通過度數	民家へ來襲度數	金錢 韓人	金錢 日人	物品 韓人	物品 韓人	建物 韓人
			圓	圓	圓	圓	圓
羅州	六	八	—	六五	—	—	三
務安	一	九	一四	三五	三六	—	—
光州	二	四	四五	—	—	—	六
海南	[illegible]	八	七	—	六	一〇	一四
靈岩	[illegible]	二	—	一〇	—	—	一
靈光	四	二	—	—	三〇	—	—
谷城	一	三	—	—	—	—	三
興陽	一	二	六	—	—	三〇〇	三
康津	—	一	—	—	—	—	—
突山	一	—	—	—	—	—	—
莞島	二	一	—	三	五	二〇〇	—
順天	二	四	—	[illegible]	—	—	四
寶城	一	二	—	—	—	—	—
潭陽	二	三	三六	—	—	一五〇	三〇
昌平	一	一二	八	—	—	—	—
咸平	一	二	—	—	三九〇	—	—
麗水	一	—	—	—	—	—	—
長興	二	三	—	—	—	—	—
長城	一	一	—	—	三〇	—	—
同福	一	五	三〇	—	—	—	—
光陽	一	一	—	—	—	—	—
南平	二	—	—	—	—	—	—
茂長	三	—	—	—	—	—	—
計	四八	[illegible]	一四六	[illegible]	四九七	六六〇	六四

三月中に於ける

▲財産に關する損害▼

出沒郡	集合又は通過度數	民家へ來襲度數	金錢 日人	金錢 韓人	物品 日人	物品 韓人	建物 日人	建物 韓人
			圓	圓	圓	圓	圓	圓
順天	七	二	—	—	—	—	—	—
長興	二	四	—	—	—	四	—	—
同福	一	五	—	一四	—	三〇	—	—
海南	六	三	—	—	—	一四	—	—
寶城	六	四	—	—	—	二〇〇	—	—
昌平	四	二	—	—	—	—	—	—
潭陽	一	二	—	—	—	一〇	—	—
靈光	六	一	—	—	—	—	—	—
長城	四	四	—	—	—	三〇〇	—	—
羅州	三	五	—	—	二〇	—	—	—
光州	一〇	七	—	一三九	—	八八	—	二〇〇
務安	五	八	—	七	—	三〇	—	—
興陽	一	三	—	四八	—	—	—	—
興德	—	二	二五	—	一八八	—	五〇〇	—
谷城	一	—	—	—	—	—	—	—
靈岩	三	五	—	一四	六八五	二四	—	八〇〇
南平	—	三	—	—	—	—	—	—
光陽	—	一	—	—	—	—	—	—
康津	—	二	—	二六	—	三	—	—
智島	一	一	—	—	—	—	—	一〇〇
求禮	一	一	—	—	—	—	—	—
麗水	—	一	—	二〇〇	—	三〇	—	—
咸平	一	二	—	—	—	—	—	—
計	五六	[illegible]	二五	四四八	八九三	七三二	五〇〇	一一〇〇

二月中に於ける

▲身体に關する損害▼

出沒地	死 日男	死 韓男	傷 日人男	傷 日人女	傷 韓人男	傷 韓人女	毆打 韓人男	毆打 韓人女	拉去 韓男	放火 度數 韓	放火 軒數 韓
羅州	—	三	一	—	—	—	一	二	五	—	—
務安	—	—	一	—	—	—	三	一	三	—	—
光州	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—
海南	—	二	—	—	—	—	—	—	一	—	—
靈岩	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—
靈光	—	一	二	—	—	—	—	—	—	—	—
谷城	—	二	—	—	四	—	一五	—	—	一	三
興陽	—	—	—	—	一	—	—	—	一	—	—
康津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
莞島	—	—	二	一	一	二	—	—	—	—	—
順天	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寶城	—	三	—	—	—	—	—	—	一	—	—
潭陽	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	一
咸平	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—
麗水	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長興	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長城	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	—
同福	—	一	—	—	—	—	五	—	—	—	—
光陽	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—
南平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茂長	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一	一五	七	一	六	二	二四	三	二〇	二	四

三月中に於ける

▲身体に關する損害▼

出沒地	死 日男	死 韓男	傷 日男	傷 韓男	毆打 韓男	拉去 韓男	放火 度數 日	放火 軒數 日
順天	—	—	—	—	一	—	—	—
長興	—	—	一	—	一	—	—	—
同福	—	—	—	—	四	一	—	—
海南	—	—	—	一	—	—	—	—
寶城	—	一	一	一	—	—	—	—
昌平	—	三	—	—	—	—	—	—
潭陽	—	—	—	—	—	一	—	—
靈光	—	—	—	—	—	—	—	—
長城	—	—	—	—	—	二	—	—
羅州	—	—	—	—	一	一	—	—
光州	—	—	—	一	五	三	—	—
務安	—	—	—	一	一	—	—	—
興陽	—	二	—	—	一	—	—	—
興德	二	—	一	—	—	二	一	三
谷城	—	—	一	—	—	—	—	—
靈岩	—	一	—	—	二	二	一	二
南平	—	—	—	—	—	二	—	—
光陽	—	—	—	—	三	—	—	—
康津	—	二	—	—	—	—	一	一
智島	—	—	—	—	一	—	—	—
求禮	—	—	—	—	—	—	—	—
麗水	—	二	三	—	—	—	—	—
咸平	—	—	—	—	—	六	—	—
計	二	一一	三	七	三	二〇	三	六

俳句

●自選五句　　想堂

字書引いて古泉の銹に明易き

船に寢て韓に渡るや明易き

獅形や鬼形を吐く雲の峯

夏の月十三七つ野に遊ぶ

白鷺の一羽飛び立つ夏野かな

佐倉宗吾　（七十七）　眞龍齋貞水講演

源「ハア左様でございませう、定めし御新造様も、厳しい御調べの其中に、御老母様や御子供衆を傍に置いて、御心配な事でございませう、又愈よ貴下が此度、御來になりますからは、何い深い仔細があるのでございませう　宗「ハイ、源兵衛殿、貴下だに依つて御話しまするが、上野圓珠院様の御情けを以て、愈よ私は将軍家へ御直訴をして、堀田領の困難に陷る百姓一同を助ける心持でござる、其御直訴を致しますれば如何な御處刑に成るかも知れませぬが、それは多くの人に代り、此宗五が一命を捨てる覺悟で居ります、其事をれ察し下し置かれたる圓珠院様が、故郷の妻子に別れを告げて歸れと、御情け厚き思召、それ故今宵御厄介になりました」源「ハイ」下俯向いて居る源兵衛が、ハラハラと落涙を致し　源「アヽ貴下のやうな御方はございませぬ、公津の旦那様、萬一貴下が御處刑になり、御新造や御子様が所拂ひとでも御成り遊ばす事がありますれば、此源兵衛が御新造や御子様は、確かに御引取り申して、屹度御世話を致しますから、それは必ず御心配遊ばさぬやうに　宗「ハア、宜う云ふて下すつた」源兵衛殿辱けない、兩手を合はせ宗五郎が拝みました時に、鬼を欺くやうな井筒屋五郎兵衛、ボロボロ涙を流して　五「島屋さん、今聞いてら、偉いれ前さんの御逹引だ、噂う云ふお前さんが量見で、此宗五郎様の御新造や御子さんを御引取になりや、此五郎兵衛は目下、子供と謂つちや一人も無えから、宗五郎様の子供を一人、相續者に遺して、後二人は俺貰つて、何うにでも身の振方を附けますから、希か宗五郎様、安心をしてれくんなせゑ　宗「へ、島屋源兵衛殿と申し、井筒屋五郎兵衛親分と云ひ、斯ばかり宗吾の身の上を思つて下さるか、有難いと、ハラハラ落涙を致して居ります　源「それでは斯う云ふ間も、油断は成りませぬから、御飯を支度を致しませう」今支度を吩咐けてゐる所へ、郡方廻村の役人多賀四郎兵衛、居明二人を伴れて向うから行つて來る、ギヨツと致しましたが、島屋は來たなと覺悟をして、豫て五郎兵衛と打合が付いて居りますから　四「コレよ、島屋　源「へ、御苦勞様でございます　四「今此方の家へ、京四つの駕籠が着いたやうに思ふが　源「ハイ、エー　四「其客は何室にゐる　源「ハイ、御二階でございます　四「ナニ二階かッ　源「少々御待ち下さいまし、貴下は何方へ　四「二階の客を取調べるのぢや　源「イヤ御調べには及はないのでございます、彼人や上野三十六坊へ御出入をなさる、下谷坂本町の井筒屋五郎兵衛と謂ふ方で、常陸の龍ケ崎の御親類へ還つて御來になつたので、始終私の處へ御泊り下さる御客様でございます、是から成田の不動様へ御參詣になりますので、早い時には、私の家で中食を御食ひになりまして、佐倉の太田屋へ行つて御泊りに成りますが、遅いと私の家へ御泊りになります、今日は遅く立つて入らつしたから、私方へ御泊りになりましたので、貴下方が御調べに成らぬでも確かでございます　四「默れッ、近頃ざう云ふ旅人でも、此邊へ參つて一夜たりとも泊つた者は、取調べると云ふは、上役人に於て、詮議中の者があるからである　源「左様でもございませうが、常陸の龍ケ崎から、今日遅く御來になりまして、手前方で一夜御泊りになつた、御馴染の御客で　四「それは分つてれるが、一應取調べなければ相成らぬ　源「それでは一寸——唯今　四「イヤ然うでない」と云ふと、二階へ登りますから　源「御二階へ御登りになるよう」と態と大きな聲で、源兵衛が梯子段の登り口の處で喚鳴つた、五郎兵衛はソレ來やがつたと、襖を開けて古葛籠を取り、五「サア宗吾どん、早く御出なせヘ、心配するにや及ばねヘ」と宗吾を隱しやりました



京城新報

暴徒の猖獗

税金徴集不可能

暴徒の跋扈は殆ど三年に亘りて今尙は鎭定するに至らず、餘りに長きを以て世人の耳に慣れたる爲なるか、輓近暴徒問題は世人の話頭に上らず、統監府の如きは常に暴徒は全滅せんとしつゝありとか或は十人以上の集團はなしと聲言す、之れ政略上より斯く聲言するや否は知らざるも、之が爲に世人も自然暴徒に對して注意を拂はざるに至れり、然るに何ぞ圖らむ、實際に於ては今尙暴徒は猖獗を極めつゝあり、從て其被害の及ぶ所頗る大也、亦保護政治の運用普及を阻害すること決して鮮少ならず、之れ豈輕々に看過すべき事ならんや、

頃者曾禰副統監が北韓よりの歸途光濟號に乘じて木浦視察に行かれし際、木浦商業會議所は副統監に向て**暴徒の被害**及**其慘狀**に付き詳細なる陳情を爲したり、同商業會議所は暴徒の被害に就て詳細の調査をなせり別項掲載せるもの即ち是なり、是に依りて觀れば暴徒は鎭定せざるのみか南韓地方の如きは益々猖獗を極め居るは事實也、然るに鎭定せんとするとか或は十人以上の集團なし杯とは一片の囈語のみ實際に於ては數百人の集團が各所に出沒し我が討伐隊に抵抗を試みるが如きなきに非ず、玆に於て余輩は其問題の古き故を以て默視する能はず當局者は今日の暴徒を以て政治的意味を有せざる一種の草賊に過ぎずと辨明して頻に其聲を小にせんとするものゝ如し、余輩は暴徒の性質が政治的意味を有せざると亦一の草賊たるを問ふものに非ず、苟も地方の安寧秩序を破壞するものは何れにもせよ速に全滅して其危害を絕たざる可らず、余輩が南韓地方より接受せる情報に依れば**暴徒跋扈**の爲めに**税務官**の如きは**税金取立**に行く能はず、税務官が税金を徴收する能はざる程ならば、商賈の如き無論爲し能はざるべし、此等慘憺たる狀態は統監府も韓國政府も能く知悉せる筈なるに全く知らざるが如く暴徒の横行を擅になさしむるは甚だ怪訝に堪へざる事なりとす、被害の影響頗る重大なるにも拘らず平然たるに至りては其[illegible]殆ど解す可らず、愚なる當局者は**觀光團**の如き**呑氣**なる**茶番**を企てゝ平和を裝はんと勉るも、税金さへ徴收し能はざる程に地方は騷亂しつゝあるを殆ど知らざる異似をなし居るは、恰も噴火山巓に舞踏を演じつゝあるに異らず、亦危險ならずとせんや、保護政治を喋々し韓國開發を語るも暴徒にして鎭定せずんば何事も爲す能はず、余輩は呉々も當局者の心得違を責むると共に速に暴徒全滅を實行し、地方の安寧秩序を確保するに至らん事を希望するもの也、

東京電報

▲**日糖事件の豫審終結** 日糖事件に關係せる收賄代議士は總て瀆職法に問はれ外に收賄幇助罪三名あり重なる收賄者は栗原三千圓森本二千圓松浦五千圓横井四千圓西村五千八百圓横田三千圓石原亟平白井哲夫共同にて二萬圓等なり

▲**保釋の不許可** 拘禁代議士は總て保釋を許さずして審理を急ぐ方針に決したり

▲**紀念章の下賜** 東宮殿下御渡韓紀念章拜受者昨十日裁可せられたるが皇族の分は金製他は銀製にして不日配付さるゝ筈なり (十一日午前發)

外報一束

●**米國窮民の暴動** 麵包の價非常に騰貴し紐育の下層人民は窮餘暴動を起すに至れり數千の婦人亦一揆に加はり直に救濟を與へよと絕叫しつゝあり麵包屋の襲擊せらるるもの頗る多く被害極めて大なりと傳へらる

●**ル氏と日本移民** 米國前大統領ルーズヴェルト氏がアウトルツク雜誌に揭げたる日本移民反對の論文は英國に於て甚しき驚愕の念を惹起せりと

●**清葡國紛議重大** 澳門に關する清葡國間の爭議は危急に迫り清國は葡領區域方面に軍隊を集中せしめつゝありと

●**本邦船員殺害さる** 日本某帆船の船長及び船員數名南洋獨逸領アドミラルチー島に於て土人の爲め殺害せられたりニユーギニー獨逸植民地知事は懲伐隊に即時出發を命せりと

●**清廷と日人乳母** 清國宮廷にては幼帝の保姆に日本人を採用すべしと

●**本年露國徴兵數** 露國の本年度徴兵數は四十五萬六千六百三十五人なり

●**被害獨人の素性** 雲南に於て殺害せられし獨逸人はフランクフルト、ツアイツングの記者ドクトル、フルンヒパ及び同行者シユミツツといふものにて昨年六月動物研究のため緬甸より雲南に入りしもの也と

雜報

●韓國漁業問題

韓國政府新に漁業法を制定して之を實施するに至りたるより韓海に於ける邦人漁業者中には窮況に陷るもの少なからずと云ふ韓海に於ける邦人の漁業は戰後長足の發達を爲したるものにして今漁業法制定の爲に多數の漁民をして其業を失ふに至らしめたるに對し統監府は其責を免るべからず何んぞ彼等の爲に速かに善後の處置を爲さゞると高朝報は論述せり

●**四月中元山漁況** 永興灣内に於ける鰊漁は角網又は壺網一統に付最も多きは二百八九十圓最も少きは三十圓位にして長箭浦に於ける角網最多の漁利を擧げし魚價は一尾平均一錢弐厘なりき而して當期中は西風多く水温低下せると海水清澄なりしとにより魚群の來游少かりしもの丶如く二十三日以後一時其跡を絶ちたるも二十九日に至り松亭里浦に於て一網四百卅日に七八十尾を漁獲したるものあり尚ほ今後も多少の收穫を見るならん次に鰊鯖漁業海鼠潜水器漁船は總數二十三艘にして永興灣より退潮浦の間に於て操業し平均一艘十五挺の捕獲をなしたり當期は時化多きため稼業日數極めて少く且つ其製品は昨年の同時期に比し三割の安價なりき而して當期末より江原道の方面に向け出漁せる船數四艘に及べり其他鰯及び鯖は本期二十日以後漸々漁獲のりたるを以て來月に入らば相當の漁利を擧ぐるに至るべし

●**園遊會次第** 來る十五日開催さるべき曾禰副統監の催しに係る園遊會の來賓は京仁文武官、紳士、淑女等無慮二千人に達する見込なるが當日の次第左の如し

一、場所　綠泉亭及奬忠壇園構内
一、模擬店　午後三時開始
一、餘興　午後三時開始
　煙火、軍樂隊、藝妓踊、芝居、玩具類抽籤(子供へ)
一、立食　午後四時四十五分第一爆竹合圖を以て婦人入場午後五時第二爆竹にて男子入場
一、退場　憲兵隊正門より

●**韓政府株無配當** 東洋拓殖株式會社は其重役會議に於て韓國政府持株六萬に對し前期の利益金を配當せざることに決定したり右に關して會社は特別なる議案を本月二十二日東京にて開かるべき定時株主總會に提出し株主の同意を求むる筈なり

●**日露戰役損害申請** 先月二十三日公布せられたる法律第三十八號及勅令第百七號に基く明治三十七八年日露戰役の爲めに被りたる損害救恤の申請方に付きては前記法令公布前に於て既に請願書を提出せる者あるも尙此際改めて法令の規定に依り申請書の提出を要する旨統監府へ照會ありたるに付き同府は念の爲め各理事官へ向け通牒を發したりと

●**定例參與官會議** 定例參與官會議は昨十一日午前十時より統監邸に開會したるが當日は内部より提出したる地方財產管理規則、地方吏員增加規程並に地方區域に關する規程に關し内部次官代理澤田地方局長の說明あり各參與官意見を交換し午後五時散會したり

●**法令の周知方法** 度支部は法令周知の方法として十三道に於ける各面内樞要の地點に簡易なる揭示場を設け度支部及財務署並に地方委員等より面長に配布せし法令の謄寫文其他周知の必要ある訓示等を揭示せしむる事に決定し目下各財務署に命じ設置の場所を選定中なりと

●**學官の事務打合會** 新任平壤高等學校學監美禰嘉衛七、同釜山實業學校學監繩野德平の兩氏は赴任の途次來京したるを機とし平壤高等學校教授眞藤義雄、仁川日語學校學監岩崎原太郎の諸氏は昨日より學部に於て事務打合會を開きたる筈なるが尙繩野學監は小杉學部事務官と同道兩三日中に赴任の筈なりと

●**不作地窮民と救恤** 京畿道に於ける不作地窮民の狀態に就て内部は道書記官を派し實況を調査せしめ居たる事は既報の如くなるが愈々度支部と交渉の結果窮民に對し社還米千二百石を敷恤する事に決定したりと云ふ

●**漁税印紙の消印** 漁業法施行細則第六條に依れば漁業税納付者は自ら印紙の消印を爲すべき旨明示したるも漁業者中には往々代人を定めて納税する場合あるを以て今後は必ずしも本人の消印に限らざる事に改定したりと云ふ

●**勝田局長の歡迎會** 度支部理財局の主催に係る勝田局長一行の歡迎會は昨十一日正午より明月館に於て開催されたるが主人側として鈴木司税局長、理財局高等官、財務監督局長、漢湖農工銀行支配人等なりといふ

●**勝田局長出發變更** 勝田理財局長は今十二日平壤へ向け出發の豫定なりしも第一銀行京城支店檢査の爲め十四日に變更したりと

●**天一銀行の增資** 大韓天一銀行は今月末株主總會を開き資本金增加に關する件を協議すべしと

京城漫畫 (其二)



まだホントウに決心が……

●**第二回道主事任命** 第二回任命の學務擔任道主事小山吾子郎(漢城府) 傍嶋元吉(平南) 中石吉丸(江原) 富谷直吉(咸南) 山路忠夫(平北) の五氏は不日着京夫れ〴〵赴任すべしと

●**ミラー氏の鍋島訪問** 日本駐剳米國大使館書記官ミラー氏は昨朝鍋島外務部長を訪問せり

●**第二回の窮民救恤** 咸南道文川郡に於ける第二回窮民救恤は主として文川郡内に於て募集したる金品と之れに元山里有志の義捐金及び元山赤十字委員部の募集殘金を合せ現金五百四十七圓四十九錢二厘、現品此價格七百八十四圓十九錢八厘内二十二圓七十一錢二厘諸雜費支出差引一千三百八圓九十七錢八厘にして之れを救助戶數四百二十八戶、此人員一千七百六十三人に配布したるが第一回に救助したる二百八十九戶、此人員一千二百九十六人に對し三分ノ一割合にて一人に付五十九錢六厘に比し第二回は一人十九錢八厘なりき

●**貨幣發行高週報** 五月二日より八日迄の一週間一銀韓國支店に於ける貨幣發行高如左

第一銀行券發行平均高	九、〇七八、七〇〇
內 正貨準備發行額	三、〇六三、六〇〇
保證準備發行額	六、〇一五、一〇〇
銀行券平均手許有高	六二八、一五二
銀行券市場平均流通高	八、四五〇、五四八
硬貨發行額(五月八日現在)	四、二二二、九八〇
內 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六六七、〇〇〇
同 廿錢	七二一、〇〇〇
同 十錢	三九六、〇〇〇
白銅貨五錢	七九五、九〇〇
青銅貨一錢	一三六、三〇五
同 五厘	六一、七八五
金貨	五〇、〇〇〇

●**愛國婦人會水原總會** 水原に於ける愛國婦人會總會は九日午後二時より水原小學校に於て開催せられ日韓會員來賓八十餘名出席委員部豊永博士夫人の挨拶顧問鹽川書記官の報告演說大橋本部主幹の祝辭朗讀ありたる後西春軍醫正向厩農學士の有益なる講話あり尙筑前琵琶の餘興ありて一同和氣靄々の裡に散會したるは午後五時過なりき尙八日九日兩夜水原守備隊に於て會員日韓學校生徒等の爲め活動寫眞會をも催したりと

漫畫募集

▲應募心得▼

一、畫題は時事問題に關する諷刺
二、畫面は四寸五分と二寸二分五厘
　但竪横自由の事
三、當選者へは本紙一個月分を進呈す

四十二年五月　京城新報社

●**敎習所の實彈演習** 巡查敎習所にては今十二日午前十時より午後三時迄奬忠壇に於て巡查練習生の實彈射擊演習を執行する

●**暴徒首魁の絞罪** 過般龍山停車場に於て逮捕されたる暴徒の首魁李段璜は去る八日絞罪の宣告を受けたるが李は傲語して曰く自分は國家の爲めに義兵を起し大いに爲す處あらんとせしも不幸其筋の爲めに縲絏の恥を蒙り今や絞罪の宣告を受く豈多少の感慨なきに非らざるも事の玆に到りたる以上は從容死に就かんのみと

●**東拓金融の現況** 東拓會社の貸付規則は去る三日附にて其筋より認可せられたるに就ては何時にても申込を爲し得らるゝ事なるが今其の模樣を聞くに今日迄の貸付申込數は日韓人を併せ二十餘件にて忠淸及黃海兩道の方面には隨分廣大なる地面を有する者なる由而して目下鑑定中なれば不日第一回貸付を開始すと云ふ

●**東拓貸付利率** 別項記載の如く東拓會社金融部は貸付申込者に對し目下土地其他の抵當物に就き鑑定中の由なるが貸付利率は一割二分見當にて日歩三錢三厘に當る割合なりと岩佐金融部長は語りたる由

●**各道平均耕作段別** 度支部司税局最近調査に係る韓國小作人平均一人當耕作高を擧ぐれば左の如し

京畿道地方　約一反歩
江原道春川地方　小作人一戶平均五斗落田二日耕を耕作するものにして大差なからん
慶北大邱地方　田四反歩、水田三反歩
慶南地方　田五反歩、水田三反五畝歩
忠淸北道地方　田五反歩、水田二反三畝歩
平安南道地方　平均田のみなれば約二町歩畑のみなれば約一町歩
全北全州地方　平均十七斗落
全北錦山地方　田四反歩、水田二反歩
全南光州地方　田二斗落、水田十斗落
全南靈巖地方　田一反歩、水田三反歩
忠南鴻山地方　田三反歩、水田五反歩
忠南天安地方　約五斗落
咸鏡南道地方　平均一町歩
咸鏡北道地方　平均二町歩

●**平南農工品陳列所** 平南觀察道の農工品陳列所は既に物品の一部を配列したるが過日大同門樓上に開會し三日閉會したる第一回勸業品評會に出品せしもの丶內一等より三等に至る優等品及び其の重なる工作品は總て參考として之を同陳列所に保存する事となしたりと

●**群山學童紀念貯金** 群山公立小學校生徒三百九十七名普通學校生徒二百五十一名に對し曾禰副統監は金員を附與せしが學校に於て郵便貯金として各自通帳を以て交付する筈にて群山郵便局にては目下其預入手續中なりと

●**巨文島と日本人** 巨文島在留の邦人は目下數十名に達し多島海嶼中漁業根據地其他有望なるものたるは世人の熟知せる所なるが過日同島在留民總代小山森外十四名連署日本人會設置請願を其筋へ呈出せり

●**巡查練習所の移轉** 從來中樞院構內にありたる巡查練習所は去る七日慶熙宮西手元韓國赤十字社病院跡に移轉したるが八日より事務を執りつゝありと云ふ

●**岡次官の病氣引籠** 病氣にて過日來自宅に靜養中の岡內部次官は未だ全快に至らず今週中は登廳叶はざるべしと

●**荒井度支部次官** 上京中なりし荒井度支部次官は去る八日歸任せりと報せしも右は誤りにて同氏は未だ東京滯在中なり

●**出入船舶と上陸者** 仁川港一昨日の入港船は廈門丸一隻にして出港船は實東、基隆、油頭、廈門等五隻の外英國汽船福州丸上海に向ひたる船の上陸者は男七十七名女二十三名乘船者は男百四人女二十一人在港船は揚武、光濟、泉照、櫻井、安東、鎭江、三省、北國、千葉、住の江、龜龍等の諸船なり

公人私人

▲北條勳(陸軍二等主計) 東京中の處十日群山へ
▲中屋英馬(陸軍一等主計) 同大邱
▲佐々熊太郎(東亞煙草會社長) 巴城館に投宿中の處十日平壤を經て滿洲に向ふ
▲佐々木吉次郎(同社員) 同上
▲木村龍太郎(同社員) 同上
▲天野喜之助(群山理事官) 十日仁川より歸任
▲岩瀨靜(大邱前商業會議所會頭) 十日入京山本
▲白石直治(工學博士) 同巴城館
▲濱田恒(長崎造船所技師) 同
▲廣岸範政(神戶建築所技師) 同
▲エツチエーガイレー(米國貿易會社技師) 同上

近事片々

▲副統 監沿岸視察の談片御用紙に揭げらる素より談片なれば批評するの餘地もなし
▲漠然 漁業上の視察には稍々眞相を看破し得たるが如し漁業法の可否に就ては如何
▲慶州 附近は歷史的に日本に對して好感情を有する土地なりとは聊か皮相の見解也
▲日韓 民一致し提灯行列で歡迎したるを以て好感情と見るは少しく眞相を缺く者也
▲歡迎 は近來の流行人民自ら進でするとお官邊の命令でするとは其間大なる差ある也
▲野田 大塊君副統監を迎て歸り來て曰けら漢城の郭公とヌタくる矢張り是大塊式也
▲歸來 郭公が漢城にて鳴くや否や恐らくは例によりて容易に啼かざらん穴モドかし
▲觀光 團芽出度無事に歸來せり大同街路爲に出迎人非常に少し聊かもの足らぬ心地
▲猶も 是からが効能の試驗也果して日本の文明に感服して歸依の心を生じたるにや
▲獨都 駐在タイムス通信員日英同盟解除日獨同盟談進捗を打電せりとは怪しからぬ
▲捏造 も玆に至て甚だし彼通信員時々斯る惡戲をなして世を惑はす不埒千万の奴也
▲ル氏 アウトルツクに日本移民問題を揭ぐ其言ふ處は隨分得手勝手の申條只痛入る
▲學生 視察漫遊に止め勞働者一切渡らぬ樣にすべし日本政府亦之に努むる所ありと
▲日本 政府にて之が勵行六ツかしければ米國は平和的條約により禁遏せんとは難有
▲近頃 北淸でも南淸でも一体に日本人を邪魔にする傾向生じ來る是退讓的外交の爲
▲國際 侮を受る樣では何が出來る者か日本の外交家は實際在留邦人窘めに過ぎざる也
▲韓國 にしても亦斯る傾向なきに非ず在外邦人を窘むる邦國は決して發達せざる也
▲人物 元旦家として名ありし故島谷部氏生前古今の人物を動物に比較したる事有と
▲曰く 家康は古狸勝海舟は狸七分狐三分陸奧原敬は狐井上侯は虎星亨は熊松田も狸
▲大隈 は巖角に吼ゆる獅子大久保利通は沈默せる獅子西郷は白牛伊藤公は白
▲桂月 [illegible]して曰く斯く云ふ[illegible]
汀も狸也山路愛山は遠吠する犬とは[illegible]
▲更に 桂月評すらく烏谷部は伊藤公を貴公子の乘る白馬とすれど白狐が適當なりと

●元山漁況 永興灣内に於ける鰤漁は角網又は瓿網一統に付最も多きは百八九十圓最も少きは三十圓位にして長箭島に於ける角網最多の漁利を擧げたり魚價は一尾平均一錢弐厘なりき而して當期中は西風多く水温低下せると海水清澄なりしとにより魚群の來游少かりしもの〻如く二十三日以後一時其跡を絶ちたるも二十九日に至り松亭里沖に於て一網四百尾廿日に七八十尾を漁獲したるものあり尙ほ今後も多少の收獲を見るならん次に海鼠漁業海鼠潜水器漁船は總數二十三臺にして永興灣より退潮浦の間に於て操業し平均一艘十五斤の捕獲をなしたり當期は時化多きため稼業日數極めて少く且つ其製品は昨年の同時期に比し三割の安價なりき而して當期末より江源の方面に向ひ出漁せる船數四艘に及へり其他鰮及び鯖は本期二十日以後弗々漁獲ありたるを以て來月に入らば相當の漁利を擧ぐるに至るべし

●落花狼藉 秘園の怪事（上）

古木蒼々、林泉四流、亀鶴群を成し、白鷺鶺鴒飛翔する處、落花私かに語ふて曰はく、（漢皇重色思傾國、御宇多年求不得、楊家有女容姿妍、養在深閨人未知）と、噫、夕べを色なきかな暮春の空、異聲の征矢が疾流れに、唯だ青春の血ぞうつろふもの、放縦と陰謀と、而して堕落の忌むべき空氣をのみもて充たされたる某國（韓國にはあらず）

宮廷の一大怪事、想ふに秘園の落花も亦之を諷するにはあらざるなきか時は是れ彌生の半、降りしきりし春雨の空雨より霽れて、日の影漸く秘園を照らせば、花を洩れて滴る雫の美しさ、ならば糸遊の糸につなぎて何時までも春の筐と眺めんもの、只見れば松にとりすがる姫蔦の葉も蜘蛛の囲につなぐ雫の玉簾、秋の宮とは事變りて、唯だなまめかしの風情也。折しも殿堂の彼方を出でゝ、池畔の楊柳烟れるあたり、靜かに進歩を運ぶ一婦人あり、年は二八か、二九からぬ未だうら若き顔ばせにて、柳の眉、鈴の眼、低からぬ鼻、愛らしき口元、さては嬋妍たる首の細りなど、何づれは宮廷に奉仕する女官なるべく、玉をあざむく肌の下は必ずや美しき血を包めるなるべし、さるにても何の悶へぞ、一本柳の蔭に隠れて華美を見せたる躑躅の花も左程美しとは見ねざるにや、時折洩らす太息の切なさ、花は語らず人は言はず、さても不審しき婦人の悶へよ、さても不審しき婦人の悶へよ（未完）

●ぶらつ記（六） ぼく

幾日ぶらつ記ても要領を得ず、云ふことも奮くてども悉く要領を得ざる素より其所なるべしと雖も、斯くては折角の僕のぶらつ記も其要領を得ざるものと云ふべきなり、然れども翻つて之れを思へは要領を得ざるが、却つて小生の本意なり、要領を得は直ちに僕に對つて要領を得んことを請求し來らるべければなり。

此の降るのにも怯ぢずれ出掛けでゝか、傘を片手に片手にランプを捧げ持ちたる内君の訝かしげなるを『ウム』と計り、尻目も呉れず立出れば、暗は黒白なし、一寸前きにヒロリと立つた、平常見馴れし手植わの松に、危なく鼻を搔かるゝ所を、心得たりとかわして門を、出づれは風の横なぐり、今は昔し、羅生門にて兜の綴を、引つ千切れし其の夜もかくやと、思ひ出してブルリと身傑ひ、すると同時に小便を吾れと我家の門口に、放り掛けたれど流石に流れ川には響き洗ふた様な心地はせず、動ともすれば轉ばんとする、すゝか敵に足に力を要す、要すが故に倒れんとす、堀に掴まり垣に縋り漸くにして七八間を進んだ跡より『統監府』と太字に書きたる提灯に法被、草鞋に番傘の文字は知れねど左の肩に擔げて近寄る人のあり、憚りながら斯う見ねても元來人に難溢の面を見せたることなき吾れの、我慢三分に強情七分、弱味を見せじと縋りたる垣より手をば放してスラリ霜を凌いで亭々たる尾上の松の烈日に驟り機、シャンと構へて左の足を、確かと踏まへ、右をばスッと運ぶ途端に、アーラ憐れやな、ギョクリと反りし左の足、倒れてなるかと早速の胸に、右をば輕く丁と踏む憐れや其所は下水溝、ズイと擦つてッテン堂、左のお宅の杉垣に半分入れし面の痛さ『れ危険ふ』と提灯を出すには及び申さずと斷りたい程自負心も、かゝる時には頭を擡けず、漸くにして其人の手をかり足に力を入れ、禮もそこ〳〵お宅までお送り申すと云はるゝを、たつて斷り下駄片手、片手に垣で破れたる、蛇の目の傘を其のずゝに、歸つて遂にぶらつ記も得せず頰んで傷めし傷所を嘗め〳〵泣寢入りたる九日の夜の記

▲何つちが罰▼

教師「貴方は今日は罰として放課後二時間學校に殘つて讀方をしなくてはいけません、私がチャンと傍について居ますから……」生徒「ヘイ……ちやア先生が私を罰するんだか私が先生を罰するんだか、分らないや、（小聲に）いゝ氣味だ」教師「なんです……」生徒「いゝゑ先生も殘りになるんですね」

●仁川民長の自殺

仁川民團長富田耕司氏は本日午后五時自宅に於て自殺を計り病院に收容し生命危篤なりと

●御輿渡御式の延期

▲雨天の爲め晴天まで

仁川の神輿渡御式は昨日擧行せらるゝ筈なりしも前夜來篠を衝かん計の大雨は正午に至るも尙止まざりしかば渡御式のみは晴天になるまで延期することゝし昨日は午後四時より例祭の式のみ擧行したり

●韓人側の種痘 仁川警察署にて天然痘豫防の爲め市外村落の韓人部内に警官及び例の丹野看護婦を派遣し種痘し居れる所韓婦人の性癖として種痘するを好まず警察官出張する場合には村外に逃け去るてふ奇觀を呈しつゝあるが殊に尤も感ずべきは去る八日開始せる九月里里長の夫人崔召史は大に之れを慨し自ら各戸に出張して懇諭して種痘を受けしめたれば僅々五十戸位の村落なるに不拘百名計りの種痘者ありたり

●待合の取締方 京城には昨冬以來多くの待合開業を見たるが南部警察署にては其取締に就て組合規約を東京風に設けしめ檢番を設置し藝妓を呼ぶを許さるゝ大に同營業者と客の便宜を計りたる代りに今後の開業を許可せずして制限を爲すのみならず設備稍々完全なる者の外は近日檢査の上營業を差止むる方針なる趣にて小料理屋登的の構造家屋の待合は廢業の外なかるべしと云ふ

●韓國滑稽新聞 延刊に延刊を重ねたる滑稽新聞は生れた表紙の体裁から内容に至る迄大坂滑稽其儘である卷中尤も振つたるは不景氣座興行の猫島と敷島の大立廻りの挿畫である一部二十錢發行所は龍山榮町四十六番戸の同社

●五雲會 能、會 來る廿三日（第四日曜）午後一時より和將臺本願寺別院に於て開會の筈なるが當日は城控訴院長の嚴父特に會員の希望を容れ「遊行柳」を諷はる由

●花柳だより 世上は僅かに不景氣に相違無之候得共花柳界のみは中々の好景氣に御座候▲藝妓檢番の設置は嬉はしく候得共其筋の干渉に止むなく設置したと言はねばかりにヒッソリとして何處にやら、將た無いやらと云ふ樣な有樣で世人をして其存在を疑はしむる位なるは誠に殘念の至りに候此際大に奮發して大々的發表相成度候▲翡翠樓の新築は恰かも大伽藍の如く隨分立派なものにて京城の料亭では第一と云ふも過賞に非ずと存候只此上は上等の藝妓を輸入すること肝要に候▲藝妓を抱へる時は男に其見立を爲さしむるが肝要に候女を見るは男に如かずで花月の藝妓に美人が多くて翡翠、清華の二樓に美人少なきは畢竟後者に女將が見立を爲すに因る者と存候▲新町遊廓で日々登樓客の多きは皆春樓なるがこは抱妓の多き爲めにて平均揚り高の多きは第一樓本店次ぎに京城樓次が[illegible]春樓位に候其他清月樓も近頃大に新妓を輸入し日の出の勢を示し居り候（廓雀）

▲妻の朝吟▼

妻「アラ、貴郎が又たどうして私が歌ひ出すと庭の方へれ逃げに成つて咳拂ひをなさるの……」良人「イヤれ隣りの人にね、僕がれ前を毆りつけて居ると思はれちや困ると思つてね……」

はなしのたね

狐色にこんがりと燒かれたのは味なもの〻由なれど男爵有地品之丞氏の夫人拾子の方（五八）のやうな猛烈なのも困つたもの男爵あまりに燒かれ通したる結果先程より神經麻痺に罹り芝の東京病院に入院したるが夫人は毎日缺かさず出張して病室附の看護婦の一擧手一投足に注意しあまり男爵に親切過ぎるの顔が好過ぎるのと燒き立てるので、その看護婦も逃出して了ひ入れ替り立ち替り替るは〳〵廿餘人遂に赤十字社病院からも東京慈恵病院からも看護婦派出を斷つて來たから男爵病勢愈よ募れど、もう自宅療養の外無しと觀念してトウ〳〵退院したりと

▲氣候のよろしい爲めか此頃縣人會が非常に行はれるが僕の國の人は頗る少數である爲めか更らに催しが無い僕は思ふ少數なれば一層懇親を固ふするの必要があろうと請ふ京城の高橋章之助君や龍山の平田五三郎君等の御盡力あらん事を（上州無宿）▲五日の本紙三面にありし骨董商の鑑定違ひの記事は面白かつた其れに對する近藤佐五郎氏の書翰も振つて居たドコロデ拙者が一とつ狂歌を「近藤が初めてなりと言譯の言葉もさすが佐五郎の君」とは如何です（魚）▲私は新聞社の編輯局の小僧さんに成りたいな（好狸の小僧）▲平民文庫の標題にある人の面はドコカ誰れかの顔に似たところの有るのは面白い（伊藤公）▲壽座は大改築をするそうだが舞臺開きには大々的好芝居を迎ひて貰ひ度い者だ（劇狂）▲遊廓女郎には悲惨な物語りがあるが淫賣婦にも又戀物語りがあるから面白いテ（粋八）▲龍頭蛇尾とは淺岡の町奴の境遇であらふ、此頃の同奴のザマは何んだ（コック）▲京城仁川間の徒歩競爭を演つたら面白いであらふ自轉車でも宜しい（運動家）▲女郎は天下の玩弄物だ之れに惚れて通ふは馬鹿の骨頂だ併し若しも是れが眞實惚れたら其熱情は到底素人の戀には同日の譚でない彼等に情死の多いのを見ても判かる（哲學家）▲壽座の田宮貞雄等の一座は馬鹿に人氣が宜い雨天でも三百位の入りがあるさは結構だ（隣の人）▲魚兆痴史さんの花柳界讀込都々逸はいつもながら感服の至りです願くは引續き此種のものを連載せられよ（愛讀者）▲本町通りの道路は大分良くなつた此上は市區改正を速かならしむるのみだ（居留民總代）

●天氣豫報（自十一日午後六時 至十二日午後六時）
北西の風雨後曇
十一日 最高溫度 七四、一 最低溫度 五四、一（華氏）

漢城石鹼
製造販賣
一、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
（電話九七三番）
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

雇われたし 家族少なき家を望む十九女（氏名在社）

年廿五体强簿記精通會社商店へ雇はれたし 確實保證人あり給料多額を望まず 氏名在社（二四〇）

京城縣人 佐藤コノ 上記の人住所御存知の方は乍御手數京城旭町二丁目池田質店迄御報を乞ふ（二四五）

女中入用 年齡問はず情識好きの者身元保證人を要す 南山町一の四七 月報社篠塚

●雇入 十五歲以上二十歲以下丁稚至急入用 龍山元町三 日韓組

●教授 簡法茶道活花琴教授す 旭町二の七〇 丸目幸輝（二五二）

小僧入用 十五六歲にて身体强健なる者希望者は本社欄係へ申込まるべし

物件部

貸家 若草町一温突一間疊敷二間日本流三五〇 押込二外に炊事場玄關井戶付家賃 若草町一の一二九矢島（二四一）

貸家 若草町一温突二間疊敷二間日本流 押込付外に炊事場玄關井戶付家賃二三五〇 若草町一の一二九矢嶋（二四二）

貸家 若草町一温突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島（二四三）

求貸家 西大門外西小門外方面なる四五十間の韓人家屋を格安にて貸受けたし 氏名在社（二四七）

●求貸二階 南大門より本町三丁目迄の所にて眺望のよき二階二間（床、押入付）格安にて借受たし 姓名在社（二五一）

●賣却 古寫眞器附屬品共安價にて賣渡したし 氏名在社（二五三）

廣告

辯護士 岩田仙宗
明治町二丁目七十五番戶
電話二三五四番

男女生徒募集
簿記學速成教授 規則書郵券二錢
但一人毎に教授す何時入學するも差支なし
新式 官廳簿記學教科書 代五十錢
統監邸下 京城壽町二の三七
京城簿記學校

東洋總代理店
實用 石鹼 アイボリー
林原京城支店
電話 壹壹八〇 壹壹九四 番

金水舍製 ラムネ ラムネ、ミカン水
一、衞生無害 ラムネ、ミカン水
昨年の通り純良なるラムネ、ミカン水製造販賣仕候間陸續御愛飲を乞ふ
京城大和町五丁目
漢城製藥所長 藥劑師 渡邊悅之輔

京城第一の娛樂場
廿錢均一にして每夜無休
終日の勞を慰せんと欲する者は須らく當座に來り求められよ必ず興多からん
午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額
電話千百三十七番
京城座

株式會社 第一銀行韓國總支店
電話番號
長第一二一番 國庫部、發行部、營業課、當直用
第三三二番 國庫部、發行部、營業課用
第六一一番 支配人、調査部、文書課用
第三三二番 用度係、分析所用
臨時建築部用

本店 東京市日本橋區兜町
內地支店 大阪、橫濱、神戶、名古屋、京都、四日市、下關
出張所 大阪西區、東京新大阪町、伏見
韓國支店 釜山、元山、群山、木浦、鎭南浦、平壤、仁川、大邱、馬山、城津、咸興、鏡城、開城
出張所
淸國安東縣出張所
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

サッポロビール
アサヒビール
エビスビール

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗
G.D. 印トルコ金口煙草（百本入 十本入）
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
直輸入元 仁川本町一丁目
トルコ煙草商會 電話（七一五番）

靴 英米國海軍用靴 ホープ黑皮
天皇陛下御買上 洗鉄 ポープ黑皮（海豹）製靴 金剛印（全部均一）
營業品目錄寸法用紙御申越次第御送呈ス
●御注文ノ節ハ寸法御通知ノ事
●御照會ノ方ハ御照會次第回答ス
送料 一金五錢 [illegible]
東京市芝區愛宕下町四丁目
電話新橋三四〇二 振替東京四二七八
龜田本店
日本橋區新材木町支店

東京流 貸席 待合 南山町二丁目
電話 五二〇一番
大花

▲淸潔の下宿▼
客室の淸潔ご調理の美味ご御扱の懇切ごを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）
かめ屋
▲懇切の下宿▼

會席御料理
本町八丁目
富士見樓

西洋料理
京城壽町二丁目
にしき支店
電話七百二十九番
出前仕候

小賣 卸
茶
新茶賣出し
京城本町五丁目
富士の里茶舖
電話九九七番

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目 電話三四四番
山村商店
龍山元町二丁目 電話三四八番
中村運送店

（[illegible]）特定御用
牛乳 [illegible]
荒井牧場
電話一〇五六番

○熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
辯護士 岡田榮
京城旭町一丁目六十七番戶
（電話三九八番）

大 命 薫
特約販賣自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
木上商店
（電話二五一番）
和洋酒、◯の精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

開業御披露
五月七日より開業
春の桃山よいところ。
松のみどりに桃の花。
山や野べの遊びも嬉し。
大和撫子植へそろふ。
桃山遊廓の開運樓は。
解語の花の咲き匂ふ也。
五月七日より開業
龍山桃山遊廓
開運樓
電話四二二番

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九
東京火災 海上運送 保險株式會社
資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
諸機械
製本裝訂
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕候間倍舊御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話（三三三番）
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

各皮御御用 新製品 [illegible] 取次 [illegible]

松岡醫院
南山町二丁目 植村病院跡
（入院隨意）
電話六七五番

諸傘並に提灯類
印入
和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目
大島商店

易斷觀相數授 三一館
焦心單志多年爲斯道研究於茲奧旨恍然似有得者匪黙推應斯道於茫洋辭意淵隱素面輕蔑也
京城本町五丁目
通信判斷一件一圓特別二圓

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
營業 京城、曙町（電話七三番）
本店 同本町三丁目（電話四〇番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
株式會社 十八銀行 京城支店
京城南大門通 電話四二〇

本店 長崎市築町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、鎭南浦、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 [illegible] 日本
其他日本、韓國樞要地、及鎭南浦に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
貨物及旅客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三九番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 五月 日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 五月二十七日正午出帆
●大連、大沽、牛莊行 山口丸 五月二十五日前五時出帆
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月 十三日正午出帆
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 五月二十六日
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎艀ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞 [illegible] 一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓廿錢▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲行數 [illegible]
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
京城西小門通 [illegible]
發行所 京城新報社 電話 [illegible] 三番